

## <様式1>

# 令和2年度 さいたま市立西原中学校 自己評価書

西原中学校長

## 1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 「よい授業」の4つの因子に基づく授業改善に努め、基礎学力の定着を図る。  
⇒教職員の意欲・資質及びその向上に向けた取組状況、各教科等の授業の状況
- (2) いじめのない学校を目指し、積極的な生徒指導、教育相談を組織的に展開する。  
⇒いじめ防止等の状況、生徒指導の状況、教育相談の状況
- (3) 生徒が落ち着いて生活できる教育環境の整備・充実に努める。 ⇒安全管理の状況、施設・設備の状況
- (4) 保護者・地域への積極的な情報提供や地域の教育資源を活用した学校運営を推進する。  
⇒学校に関する情報公開の状況、学校と保護者、地域住民との連携の状況
- (5) 義務教育9年間を見通した指導の実施に努め、小・中学校間の円滑な接続による「中1ギャップ」の解消を図る。  
⇒学習指導・生徒指導の状況、不登校の状況

## 2 評価結果について

- ・「授業に進んで意欲的に取り組んでいる」について肯定的に回答した生徒が97%であり、生徒たちが日頃より落ち着いて学習に取り組んでいることがわかる。また、7月と11月に実施した教職員による「よい授業」に関するアンケート結果からは、因子①（授業マネジメント）36%、因子②（基礎アップ）50%、因子③（授業スキル）64%、因子④（アクティブラーニング）64%の上昇が見られた。決して満足できる結果ではないが、ICTを活用した授業の実践、基礎学力の定着を意識した授業の工夫改善が進んでおり、今後の目標設定がより明確になった。しかしながら、市学力テスト等の結果からは、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着及び活用が課題と考えられる。
- ・「生き生きと楽しく学校生活を送っている」について肯定的に回答した生徒は95%を越えており、多くの生徒が明るく元気に学校生活を送っていることがわかる。本年度のいじめ状況報告件数は、昨年度より減少し13件でそのうち4件は解消、9件は対応後の見守り中となっている。今後もアンテナを高くし、いじめ等の早期発見・早期対応に努める。
- ・学校安全・安全教育に関する項目では、肯定的な回答をした教職員が増加し95%を越え、「整理整頓、清掃をしている」について肯定的な回答した生徒は98%であった。今後も、安心・安全に配慮した環境の中での教育活動を推進する。
- ・「学校の方針・教育内容等を学校だよりやホームページなどで知ることができる」について肯定的な回答をした保護者は、昨年度比でマイナス5%の82%であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者会等を中止したことが原因の一つと考えられるが、今後一層積極的な情報提供に努めるため、その方策を練る必要がある。
- ・小・中一貫教育に係る項目では、肯定的な回答をした教職員は93%であり、昨年度よりも7%減少した。これも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、小・中連携行事等の実施を見送ったためと考えられる。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・引き続き基礎学力の定着に向け、学校課題研究等を通じて、因子2（基礎アップ）に焦点を当てた授業研究を進め、教職員個々の指導力を高める。また、家庭との連携を図り家庭学習の習慣化による学習時間の増加と内容の充実に努める。
- ・「悩みを先生に相談する」について肯定的な回答をした生徒は、前年度より5%減の63%であった。今後も、適切な生徒理解といじめの早期発見・早期対応を目指し、定期的なアンケート調査を実施し生徒の実態把握に努めるとともに、家庭との連携を重視し、保護者も相談しやすい体制を整える。また、さわやか相談員、SC、SSWを活用しながら、専門機関との連携を強化し、生徒の健全育成に努める。
- ・コミュニティスクールの立ち上げに向け、令和3年度においては準備委員会を定期的に実施する。
- ・小・中一貫教育では、9年間を見通した生徒指導・教育相談を進める。また、兼務教員だけでなく、全教職員の交流と情報の共有化を積極的に図り、学習面の連続性を重視するとともに更なる児童生徒理解を深める。